

速報

頭頸部がんグループJCOG1008がJCO (Journal of Clinical Oncology) にAcceptされました!

今月のピックアップ

矢野友規先生(消化器内視鏡グループ代表者)にご寄稿いただきました

JCOG消化器内視鏡グループ代表者 就任にあたって
2021年10月からJCOG消化器内視鏡グループ代表者に就任しました国立がん研究センター東病院消化管内視鏡科の矢野友規と申します。就任にあたりまして、誌面上ではございますが、御挨拶させていただきます。

消化器内視鏡グループは、2011年4月の消化器がん内科グループの発展的再編に伴い独立して誕生したグループで、初代代表の武藤学先生(京都大学病院)と初代事務局の滝沢耕平先生(記念塔病院)を中心にこれまで10年間研究活動を行って参りました。今回、武藤先生が10年を区切りとして代表の交代を英断され、グループ内での選挙を経て私が新代表者を拝命しました。新グループ事務局には、阿部清一郎先生(国立がん研究センター中央病院)を指名し、滝沢先生には1年間事務局を継続して頂くことに致しました。

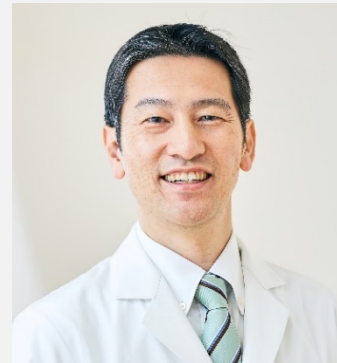
当グループでは、消化器がん内科グループ時代に開始したJCOG0508「粘膜下層浸潤期食道癌に対する内視鏡的粘膜切除術(EMR)と化学放射線療法(CRT)の検証的試験」およびJCOG0607「早期胃癌におけるEMRの適応拡大についての検証的試験」、独立してから開始したJCOG1009/1010「未分化早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の検証的試験」については主たる解析結果を発表しました。これらの結果、内視鏡治療の適応は拡大され、ガイドラインに掲載された上で、日常臨床として普及が進んでいます。試験が始まった当時は、多施設前向き試験によって内視鏡治療適応を拡大するという考えに対して否定的な意見が多い時代でもありましたので、medical oncologyの考えに基づいて議論し試験を立案した当グループが内視鏡の世界に与えた影響は大きく、グループの功績と考えています。

その後、初めてのRCTであるJCOG1207「食道癌術後難治性狭窄に対するバルーン拡張vs狭窄解除術」やJCOG1217「食道癌に対するESD後狭窄予防を目的としたステロイド局注vs内服」、初めての診断の試験であるJCOG1604「食道癌の深達度診断における超音波内視鏡の有用性に関する検証的試験」を行い、JCOG1604については結果を公表し高い評価を得ております。更に、初めての胃腸の試験であるJCOG1612「局所切除後の下部直腸粘膜下層浸潤癌に対するCRTの検証的試験」、高齢者対象の試験であるJCOG1902「早期胃癌に対するESDの高齢者適応に関する検証的試験」を行っています。当グループでは、内視鏡の特徴を活かして、診断、低侵襲治療の適応拡大、QOL改善など様々なエンドポイントの達成を目指したユニークな試験を次々と立案しております。

私自身、JCOGには消化器がん内科グループ時代から参加し、研究事務局、グループ代表委員、効果・安全性評価委員などを経験しました。内視鏡医だけではなく、臨床試験専門家、外科医、腫瘍内科医との議論を経て実現した臨床試験、その結果標準治療が確立する過程を見る機会に若い頃から恵まれました。特に、既存の標準治療や検査、試験のバリューについて多様な意見をぶつけ合って、突き詰めていく質の高い議論は他の内視鏡臨床試験グループにはないJCOGの強みだと思います。

私は、多くの若い内視鏡医にJCOGでの多施設臨床試験にチャレンジしてもらいたいと考えており、その環境を整備し、マネージ

たいと考え代表者に立候補致しました。すでにグループ内では、若手研究者を中心として食道、胃・十二指腸、大腸のスマールグループが発足しています。スマールグループは頻りにweb ミーティングを行っており、臨床試験立案を目指して、それぞれの臨床ニーズについて深掘した議論を行って来ています。更には、臨床試験初学者を対象としてブートキャンプも始まっており、事務局経験者からのレクチャーなどによる教育によって、グループの持続的発展を目指した活動も行っております。



グループ代表者 矢野友規

私が考える当グループの目標は、がん医療における内視鏡の価値を高めることです。現在、ESDを中心とした内視鏡治療は、国内では外科手術件数を超え、最も多くの消化器がん患者を治している治療です。さらに新しい内視鏡検査や治療の開発が進んでおり、近い将来に臨床導入されることが期待されます。我々は、JCOGでの質の高い臨床試験を継続的に行い、結果を出すことで、がん医療における内視鏡の優れた価値を多くの方に理解してもらいたいと考えています。すべての方のがんが内視鏡で早期に発見され、内視鏡で侵襲なく治すことが出来るようになる日を目標にグループ一丸となって研究を継続していきます。

今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしく願い申し上げます。

2022年1月24日 JCOG消化器内視鏡グループ代表者 矢野友規

JCOG研究の論文公表



◇ 肺がん外科/肺がん内科グループ JCOG1807C

青景 圭樹 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34999817/>

Study protocol for JCOG1807C (DEEP OCEAN): a interventional prospective trial to evaluate the efficacy and safety of durvalumab before and after operation or durvalumab as maintenance therapy after chemoradiotherapy against superior sulcus non-small cell lung cancer

Japanese Journal of Clinical Oncology, 2022 Jan 7, Online ahead of print

◇ 食道がんグループ JCOG0502A1 大嶋 琴絵 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34962019/>

Prognostic biomarker study in patients with clinical stage I esophageal squamous cell carcinoma:

JCOG0502-A1

Cancer Science, 2021 Dec 28, Online ahead of print

◇ 消化器内視鏡グループ JCOG0607A1

吉田 将雄 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34919940/>

Second gastric cancer after curative endoscopic resection of differentiated-type early gastric cancer: post-hoc analysis of single-arm confirmatory trial

Gastrointestinal Endoscopy, 2021 Dec 14,

Online ahead of print

◇ 大腸がんグループ JCOG0212S9 大植 雅之 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34865105/>

Preoperative and postoperative prognostic factors of patients with stage II/III lower rectal cancer without neoadjuvant therapy in the clinical trial (JCOG0212)

Japanese Journal of Clinical Oncology, 2021 Dec 2,

Online ahead of print



担当医別月間登録数

◇ 肺がん内科グループ(月間登録数:2)

内海太裕 先生/九州大学病院

内海裕文 先生/東京慈恵会医科大学附属病院

矢満田慎介 先生/仙台厚生病院

清水恒 先生/仙台厚生病院

◇ 肺がん外科グループ(月間登録数:2)

渡辺俊一 先生/国立がん研究センター中央病院

塩野知志 先生/山形県立中央病院

◇ 胃がんグループ(月間登録数:2)

土田知史 先生/がん・感染症センター都立駒込病院

安福至 先生/岐阜大学医学部

山形幸徳 先生/国立がん研究センター中央病院

木下敬弘 先生/国立がん研究センター東病院

早田啓治 先生/和歌山県立医科大学

西田靖仙 先生/恵佑会札幌病院

◇ 食道がんグループ(月間登録数:3)

曾根田亘 先生/浜松医科大学

◇ リンパ腫グループ(月間登録数:2)

鈴木康裕 先生/国立病院機構名古屋医療センター

◇ 婦人科腫瘍グループ(月間登録数:2)

山内真 先生/大阪市立大学医学部附属病院

◇ 大腸がんグループ(月間登録数:5)

高島淳生 先生/国立がん研究センター中央病院

◇ 肝胆膵グループ(月間登録数:2)

寺島健志 先生/金沢大学医学部

鎌田研 先生/近畿大学病院

◇ 消化器内視鏡グループ(月間登録数:2)

阿部清一郎 先生/国立がん研究センター中央病院

◇ 皮膚腫瘍グループ(月間登録数:5)

中村泰大 先生/埼玉医科大学国際医療センター

(担当医別最多登録数が1例のグループは割愛しています)

グループごと月間登録数



登録数月次レポート

<https://secure.jcog.jp/DC/DOC/member/report/index.html>

グループ	11月	12月	1月	合計
大腸がん	49	38	55	142
胃がん	33	41	33	107
肺がん内科	34	34	30	98
皮膚腫瘍	31	27	21	79
乳がん	25	26	18	69
肺がん外科	16	22	21	59
リンパ腫	16	20	14	50
婦人科腫瘍	23	15	10	48
肝胆膵	14	16	15	45
消化器内視鏡	13	10	12	35
放射線治療	5	17	13	35
脳腫瘍	13	14	6	33
食道がん	11	11	10	32
頭頸部がん	13	6	7	26
骨軟部腫瘍	3	4	6	13
泌尿器科腫瘍	2	3	1	6
合計	301	304	272	877

JCOG
Japan Clinical Oncology Group

JCOGデータセンターより
~ 今月のひとこと ~

● 2022年1月の登録例は272例でした。

数か月間、「今月も300例以上のご登録を頂きました！」とアナウンスしているのですが、272例だと少なく感じる気もいたしますが、1月は毎年少ない傾向で、1月に限定すれば過去最高の登録数となります。今月も多くのご登録ありがとうございました。

